

スポーツとライフスタイル & ものづくりの未来

●日時：令和5年6月16日（金）15：00～17：00

受付開始：14：30 開場：14：45

●会場：兵庫県立工業技術センター 研究本館

〒654-0037 神戸市須磨区行平町3-1-12

主催：兵庫県工業技術振興協議会
兵庫県立工業技術センター

●基調講演（15：00～16：00）

「モノ・コトづくりを通じた革新的価値が切り開く、 スポーツとライフスタイルの未来」

株式会社アシックス 執行役員 スポーツ工学研究所 所長 原野 健一氏

アシックススポーツ工学研究所では、「人」を中心に据えた科学的アプローチから心と身体の動きあらゆる観点から詳細に分析し、個人にあったスポーツの楽しみ方を見出し、自らのライフスタイルを豊かにする新しい価値提供を目指し研究を進めている。その一例としてトップアスリート向けの研究開発、ウェルビーイングな社会の実現に向けた取り組みなどスポーツとライフスタイルの未来について紹介する。



1992年に株式会社アシックスに入社。スポーツ工学研究所に配属され、スポーツシューズの材料設計を担当。2000年には、中国広州事務所赴任し、自社開発材料の委託工場への移管業務・技術指導を担当。その後、スポーツ工学研究所 フットウェア機能研究部長を経て、2018年に執行役員 スポーツ工学研究所 所長に就任。材料設計・構造設計の研究に加え、人間特性に関する研究、品質評価に関する研究、生産技術に関する研究、DXに関する研究を担当。

○講演（16：00～17：00）

「ものづくり企業がDXを推進する方法」

旭光電機 株式会社 代表取締役社長 和田貴志氏

遠隔監視等のIoTに加えて、ChatGPTなどのAIの著しい発展が見られる昨今に於いて企業のデジタル化（見える化）が求められている。そこで身近な所から自社ベースでDXを実現する導入事例を解説する。

「兵庫県立工業技術センターにおけるポストコロナ禍のモノづくり」

兵庫県立工業技術センター 所長 山崎 徹氏

ポストコロナ禍のモノづくりは、「大量生産」、「大量消費」、「大量廃棄」のモノづくりから脱却し、「無駄を省いたモノづくり」、「リサイクルし易いモノづくり」、「地球環境に優しいモノづくり」を目指す。これらを実現するためには、公設試や大学が中心となってオープンイノベーション拠点を形成し、水平分業型モノづくりを目指すことが有効と考える。兵庫県立大学姫路工学キャンパス内に設置した「金属新素材研究センター」において、金属3Dプリンタ技術をコアにしたオープンイノベーションによる活動事例を紹介する。

申し込み締め切り：令和5年6月9日（金）
オンラインでも参加できます

申し込みはこちら

